

新任運転者講習プログラム

「指導及び監督の内容」の

12項目に沿って

15時間以上実施

その上で

車両を使った指導や

安全運転の実技を

20時間以上実施

- 点検
- 運転
- 荷役
- 接客
- ⋮



トランクを運転する場合の心構えは
解説ページで

…今日も快晴！…トラックドライバーデイ誌

「安全・安心」に欠かせない取り組みを、サンライズ運送に勤めるスタッフたちそれぞれのエピソードを通じて紹介。

第37話

経験を積んでも 初心者の気持ちを忘れずに



ドライバー
綾瀬 小陽(24)



漫画で学ぶ法定12項目シリーズ 「トラックを運転する場合の心構え」

今回から、ドライバー指導の際に義務づけられている法定12項目について、漫画と解説でポイントを紹介していきます。

今回は「トラックを運転する場合の心構え」です。

経験を積んでも初心者の気持ちを忘れずに

万一の事故も小さくなるような取り組みを

自分を中心とした狭い範囲では事故がゼロであっても、配送ルート外など範囲を広げると事故が無い日はゼロといえます。事故はある(危険は身近にある)前提で、万一事故を起こした場合でも被害が最小限になるよう、安全対策に取り組みましょう。



良い意味で運転が臆病になれば事故が遠ざかり、結果的に「事故が少なく」なるでしょう。

マンガ制作:ad-manga.com

初心者の頃のように「小心者」でちょうど良い

「運転が嫌い」であれば、運転時間が主となるドライバー職は務まりにくいかかもしれません。かといって「運転がおもしろい」と思うだけでもドライバー職は長くは務まらないものです。事故の怖さも安全の尊さも知らない状態では、「運転はおそろしい」結果を招くことを忘れずに。また仕事に慣れてきた頃に、誰もが陥る安全の落とし穴にはまらないよう、初心者の頃に恐る恐る実践していた確認の方法も忘れずに。

「運転は嫌いではないが怖いもの」と考えて、小心者であるくらいの心構えの方が、大きなトラックを乗る場合にはちょうど良いのです。

事故を小さくすることで事故が少なくなる

無事故の期間が長いことは誇るべきことです。しかしするとその期間は「事故が起る前の期間」なのかもしれません。運転とは運が転ぶと書きます。運転の結果においては、あえて極論すると「事故をする」か「事故をしないか」しかなく、言い換えると事故の確率は「半分・半分」ということです。

いつも運任せで運転をしていれば、いつか悪い方に運が転がるかもしれません。車で移動しているのではなく、車を自ら運転していると考えましょう。また「事故は起こりえる」という前提で、無事故の日を長く続ける努力と事故の被害を小さくする努力を続けましょう。その努力を続けることで、結果的に事故が少なくなつて無事故の期間が長くなります。

社会の模範となる運転者としての心構えを持ちましょう

社会から見れば、安全のプロである運送会社のドライバーが事故を起さないのは当たり前。その評価を高めるべく安全維持に加え、「思いやり」と「先に譲る」気持ちを持つための社内活動は不可欠です。



安全運転はもちろん、「思いやり」と「先に譲る」気持ちを持つことは当たり前に。

当たり前を当たり前に継続する努力を

運送会社で無事故の期間が長くなれば、それがモチベーションとなりさらに無事故を継続するための努力が続くでしょう。しかし悪い慣れに転ずれば、事故への警戒心が薄れることで安全への努力が疎かになり、無事故の期間が途絶えることも考えられます。運送会社における「安全」とは、事故で失う、もしくは失いそうになるものに対して、その尊さを都度認識して安全を維持する努力を続けるものです。例えるならば、病気によって「健康」の大切さを認識し、維持に努めるのと似ているかもしれません。

私たちが歩いている時は、対象物には人間本来の反射神経で機敏に対応できますが、トラックは人ほど機敏には動いてくれません。トラックを運転しながら、細かい時間指定のある数多くの配送に対応して、事故ゼロを維持するのは大変価値があり素晴らしいものですね。そして、その結果の背景には無事故を継続するための努力があるのです。



高柳 勝二 (たかやなぎ かつじ)

株式会社 プロデキュー代表取締役。1990年、運送会社にドライバーとして入社し、管理職を経て18年間勤務。2008年に株式会社 プロデキュー設立。中小運送会社からの依頼が多い“提案型”研修は、受講されたドライバーや管理者からの「おもしろい・聞くならない・分かりやすい」との評判が口コミで広がり、各都道府県のトラック協会や協同組合等の研修会でも講演多数。2016年度から2022年度まで国土交通省「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員。